

IBM® Lotus Notes 用の
ADOBE® ACROBAT® CONNECT™ PRO 7.5
Add-in の使用

© 2001 - 2009 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

IBM® Lotus Notes 用の Adobe® Acrobat® Connect™ Pro 7.5 Add-in の使用

This user guide is protected under copyright law, furnished for informational use only, is subject to change without notice, and should not be construed as a commitment by Adobe Systems Incorporated. Adobe Systems Incorporated assumes no responsibility or liability for any errors or inaccuracies that may appear in the informational content contained in this guide.

This user guide is licensed for use under the terms Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the user guide for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the user guide; and (2) any reuse or distribution of the user guide contains a notice that use of the user guide is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>.

Adobe, the Adobe logo, and Acrobat Connect are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. IBM is a trademark of International Business Machines Corporation in the United States, other countries, or both. All other trademarks are the property of their respective owners.

Updated Information/Additional Third Party Code Information available at www.adobe.com/go/thirdparty/

Portions include software under the following terms:

RealDuplex™ Acoustic Echo Cancellation is Copyright © 1995-2004 SPIRIT.

This product contains either BSAFE and/or TIPEM software by RSA Security, Inc.

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (www.apache.org/).

Flash video compression and decompression is powered by On2 TrueMotion video technology. © 1992-2005 On2 Technologies, Inc. All Rights Reserved. <http://www.on2.com>.

This product includes software developed by the OpenSymphony Group (<http://www.opensymphony.com/>).

Portions licensed from Nellymoser (www.nellymoser.com).

MPEG Layer-3 audio compression technology licensed by Fraunhofer IIS and THOMSON multimedia (<http://www.iis.fhg.de/amm/>).

Sorenson™ Spark™ video compression and decompression technology licensed from Sorenson Media, Inc.



Licensee shall not use the MP3 compressed audio within the Software for real time broadcasting (terrestrial, satellite, cable or other media), or broadcasting via Internet or other networks, such as but not limited to intranets, etc., or in pay-audio or audio on demand applications to any non-PC device (i.e., mobile phones or set-top boxes). Licensee acknowledges that use of the Software for non-PC devices, as described herein, may require the payment of licensing royalties or other amounts to third parties who may hold intellectual property rights related to the MP3 technology and that Adobe has not paid any royalties or other amounts on account of third party intellectual property rights for such use. If Licensee requires an MP3 decoder for such non-PC use, Licensee is responsible for obtaining the necessary MP3 technology license.

Notice to U.S. Government End Users: The Software and Documentation are "Commercial Items," as that term is defined at 48 C.F.R. §2.101, consisting of "Commercial Computer Software" and "Commercial Computer Software Documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §227.7202, as applicable. Consistent with 48 C.F.R. §12.212 or 48 C.F.R. §§227.7202-1 through 227.7202-4, as applicable, the Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation are being licensed to U.S. Government end users (a) only as Commercial Items and (b) with only those rights as are granted to all other end users pursuant to the terms and conditions herein. Unpublished-rights reserved under the copyright laws of the United States. Adobe agrees to comply with all applicable equal opportunity laws including, if appropriate, the provisions of Executive Order 11246, as amended, Section 402 of the Vietnam Era Veterans Readjustment Assistance Act of 1974 (38 USC 4212), and Section 503 of the Rehabilitation Act of 1973, as amended, and the regulations at 41 CFR Parts 60-1 through 60-60, 60-250, and 60-741. The affirmative action clause and regulations contained in the preceding sentence shall be incorporated by reference.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

目次

第 1 章：はじめに

必要システム構成	1
Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in のインストールと起動	1
ヘルプとサポート	1

第 2 章：Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in の使用

Add-in のオプションへのアクセス	3
ユーザーアカウントの設定と編集	3
Acrobat Connect Pro 会議室情報の追加	4
Acrobat Connect Pro の会議の設定と管理	7

第 1 章：はじめに

新しいソフトウェアのインストールが完了していない場合は、最初にインストールとその他の準備に関する説明をお読みください。ヘルプとユーザーに提供されている各種リソースの概要を確認しておいてください。

必要システム構成

Adobe® Acrobat® Connect™ Pro 7.5 Add-in for IBM® Lotus Notes は、Lotus Notes 7 以降のほとんどのバージョンの Lotus Notes を Domino Server 上でサポートしています。必要システム構成については、www.adobe.com/go/connect_sysreqs_jp を参照してください。

Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in のインストールと起動

Lotus Notes 8.5 以降

システム管理者が Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in を導入し、グループのどのメンバーがアドインをダウンロードして使用できるかを指定します。指定されたメンバーは、最初にメールデータベースを開いた時点でアドインをダウンロードするように求められます。アドインをダウンロードし、Lotus Notes を初めて起動した後、Acrobat Connect Pro の資格情報を入力するように求められます。これらの資格情報にはログイン、パスワード、およびサーバー URL が含まれます。資格情報が確認されると、サーバーから会議室リストが取得されます。証明情報が確認されない場合は、エラーメッセージの説明に従ってください。

Lotus Notes 7

Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in 機能はメールテンプレートに組み込まれており、システム管理者が機能をパブリッシュおよびアクティブ化します。メールデータベースを初めて開くと、Connect Pro アカウントのインストールと設定を促すメッセージが表示されます。

ヘルプとサポート

コミュニティヘルプ

コミュニティヘルプは、アドビ システムズ 株式会社や業界のエキスパートで構成されるコミュニティで生成されたコンテンツにアクセスできる Adobe.com 上の統合環境です

コミュニティヘルプでは、次のようなさまざまなリソースを利用できます。

- デザイナーやデベロッパー向けのビデオ、チュートリアル、ヒントとテクニック、ブログ、記事、サンプルなどを参照できます。
- 全オンライン製品ヘルプ。アドビ文書チームにより、定期的に更新されています。

- ナレッジベースの記事、ダウンロードとアップデート、デベロッパーコネクションなど、Adobe.com 上の他のすべてのコンテンツ。

製品のヘルプインターフェイスにあるヘルプ検索フィールドを使用して、コミュニティヘルプに直接アクセスします。製品のコミュニティヘルプで利用できるあらゆるコンテンツのポータルである、Connect Pro ヘルプ&サポートのページ (www.adobe.com/support/connect) にアクセスすることもできます。

デフォルトのコミュニティヘルプ検索エンジンで検索されるサイトは、アドビとアドビコミュニティのエキスパートが手動で選択し、検証しています。また、アドビのエキスパートにより、最上位の検索結果には、オンライン製品ヘルプの結果を含めて、様々な種類のコンテンツが組み合わせて表示されるようにしています。

注意： Acrobat Connect Pro ヘルプにユーザーコメント機能はありません。

コミュニティヘルプについて詳しくは、http://help.adobe.com/en_US/CommunityHelp/ を参照してください。

コミュニティヘルプの概要ビデオについては、www.adobe.com/go/lrvid4117_xp_jp を参照してください。

製品ヘルプ

アドビでは、Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in の詳細なユーザーガイドをオンライン製品ヘルプおよび PDF の両方で提供しています。製品内のヘルプメニューで製品のヘルプを開きます。

インターネットに再接続している場合、www.adobe.com/support/connect にあるコミュニティヘルプおよび製品のヘルプとサポートのページから PDF にアクセスできます (PDF リンクは追加ヘルプの下にあります)。コミュニティ検索結果には、オンライン製品ヘルプの結果が必ず含まれます。

注意：多くのユーザーがインターネットに接続していない環境では、システム管理者はドキュメントをダウンロードして会社のイントラネットで使用できるようにすることができます。

サポートリソース

有料および無料のテクニカルサポートオプションについて詳しくは、アドビシステムズ社のサポート Web サイト (www.adobe.com/jp/support) をご覧ください。

第 2 章：Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in の使用

Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in を使用して、Acrobat Connect Pro 会議情報を、Lotus Notes から送信される Lotus Notes Calendar の招待状および電子メールメッセージに追加します。Acrobat Connect Pro の会議を予約する際に、招待者を含む Lotus Notes の会議の要求を作成します。Lotus Notes によって、この会議がすべての参加者のカレンダーに追加され、リクエストを受け入れたすべての参加者に会議のアラームが提供されます。

Acrobat Connect Pro を使用すると、従業員、顧客、パートナー、投資家、サプライヤ、およびユーザーのネットワークにアクセスできる他の人との会議を予約できます。

Acrobat Connect Pro の詳細については、www.adobe.com/go/connectpro_productinfo_jp を参照してください。

Add-in のオプションへのアクセス

Connect Pro Lotus Notes Add-in のオプションには、以下の場所からアクセスできます。

- Lotus Notes のアクションメニュー。
- Connect Pro ツールバーの、Connect Pro Add-in メニュー - 。
- 電子メールメッセージやカレンダーの招待の、Connect Pro Add-in メニュー。

ユーザーアカウントの設定と編集

Connect Pro Lotus Notes Add-in をインストールしてから初めて Lotus Notes の電子メールアプリケーションを起動すると、アカウントの設定を要求する画面が表示されます。アカウントを設定する際に、このアドインは Acrobat Connect Pro の既存の会議室の URL、ログイン、およびパスワードを確認します。アドインがこの情報を見つげられない場合には、ユーザーに設定を要求するメッセージが表示されます。

アカウント情報の編集は、登録時または設定の更新時のどちらかに実施してください。

設定

現在の設定を変更するには編集ボタンを使用します。



ログイン名:

パスワード:

サーバ:

デフォルトの会議室:

常に SSL を使用して接続する

Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in

アカウント情報を編集するためのダイアログボックスの設定

- 1 設定を更新する場合は、Add-in のメニューの「設定の変更」を選択します。
 - 2 ログイン名とパスワード情報を入力します。
 - 3 Acrobat Connect Pro サーバーと、デフォルトの会議室を選択します。初回ログイン時これらのフィールドはデフォルトでは空白になっています。
 - 4 サーバーがセキュアサーバー（推奨）である場合、「常に SSL を使用して接続する」を選択します。このオプションが選択されている場合、URL は https から始まります。このオプションが選択されていない場合は、http から始まります。
- 注意：**これらの設定はいつでも変更できます。7 ページの「[Acrobat Connect Pro の会議の設定と管理](#)」を参照してください。

Acrobat Connect Pro 会議室情報の追加

Lotus Notes で会議を作成する際に、Lotus Notes のアドレス帳またはグローバルアドレス帳を使用して、ユーザーを招待することができます。Lotus Notes を使用して、電子メールの会議招待状を送信し、近く開催予定の会議の参加者にアラームを送信することができます。

会議の電子メール招待状には、招待状の本文、Connect Pro 会議室の URL、および音声会議の詳細（該当する場合）が記載されます。Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in はこの情報をカレンダーの招待状と電子メールメッセージに付加します。会議セッションごとに会議室を作成する必要はなく、セッションごとに会議室を予約または更新する必要もありません。Acrobat Connect Pro の会議室と会議室の URL は永続的です。

注意：会議の主催者を除き、会議出席者はすべて、会議参加者として設定されます。会議の前に参加者をプレゼンターまたは主催者に変更するには、Acrobat Connect Pro でユーザーの役割を変更します（会議／参加者を編集）。詳しくは、「Acrobat Connect Pro ヘルプ」を参照してください。

関連項目

9 ページの「[会議室の詳細のカスタマイズ](#)」

会議室の作成

Connect Pro 会議のデフォルトの会議室、または臨時会議室として、新しい会議室を使用することができます。管理者が会議室の作成を制限していた場合、このオプションは使用できません。

- 1 Add-in のメニューで、「Connect Pro 会議室の新規作成」を選択します。
- 2 会議室名、および URL のカスタム接尾辞、例えば名前や **会議計画** などを指定します。

会議室の詳細を指定します。

名前:

カスタム URL:

これをデフォルトの会議室にする

OK キャンセル

Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in

会議室の作成

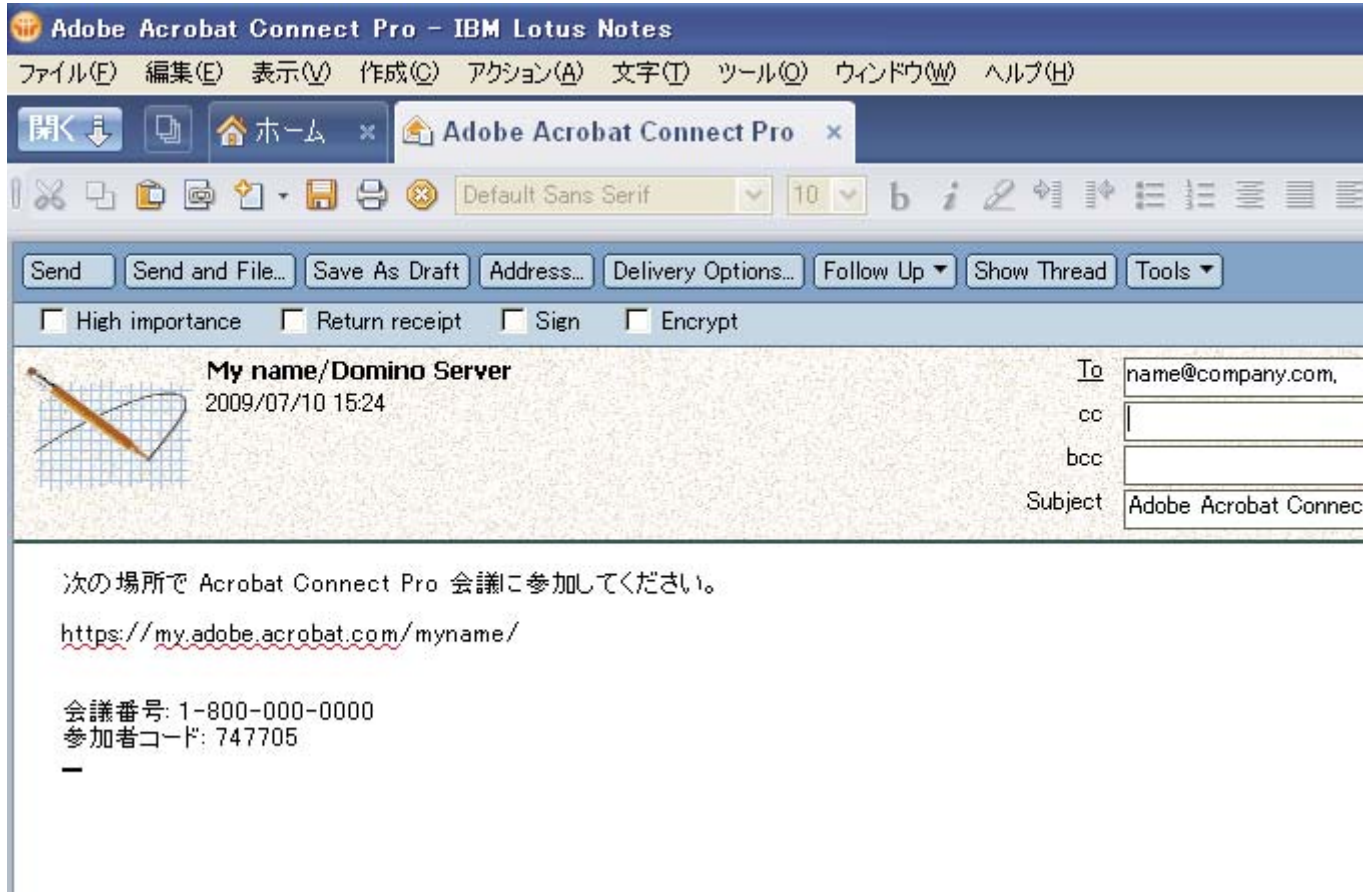
会議の招待状の送信

通常、会議の招待状は、カレンダーの上で定期的な会議や将来の会議をスケジュールし、参加者を設定することにより送信します。また、電子メールで招待状を送信することもできます。これは開催までの猶予期間が短い場合により適切です。カレンダーと電子メールどちらの場合でも、Connect Pro 会議の詳細を設定する必要があります。この詳細には、会議室の URL、電話番号、参加用のコードなどが含まれます。

デフォルト会議室の設定が完了していることを確認します。8 ページの「[デフォルトの会議室の設定](#)」を参照してください。

電子メールによる招待状の送信

- 1 Add-in のメニューで、「Connect Pro Meeting への招待を送信」を選択します。
- 2 電子メールメッセージで、参加者の電子メールアドレスを入力して、メッセージ本文に任意の情報を入力します。



Connect Pro 会議への招待状

カレンダーによる招待状の送信

- ❖ Add-in のメニューで、「Connect Pro Meeting をスケジュール」を選択します。

カレンダーの招待と会議室の情報が開きます。

Connect Pro 会議への参加

Connect Pro 会議の招待状は電子メールで送信されます。招待状には、Connect Pro 会議室の URL が記載されています。

- 1 招待状が記載された電子メールメッセージを開きます。
- 2 次のいずれかの操作を行います。
 - 会議が現在行われている場合は、招待状に記載された会議室の URL をクリックします。
 - 会議が将来開催される予定の場合は、「承認する」をクリックします。会議が始まる時間になったら、Lotus Notes カレンダーでアイテムを開き、会議室の URL をクリックします。

💡 定期的な会議の場合は、簡単にアクセスできるように会議室の URL をブラウザでブックマークすることができます。

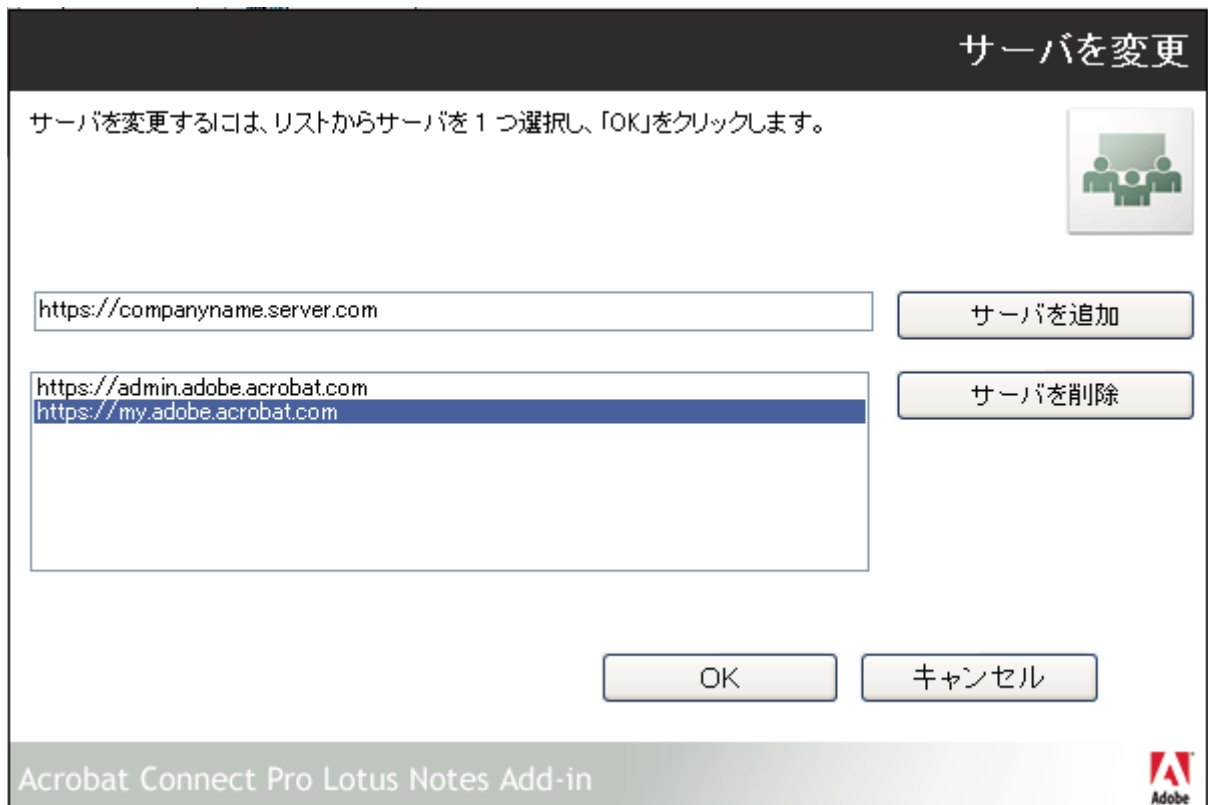
Acrobat Connect Pro の会議の設定と管理

会議の設定と管理は設定ダイアログボックス（Add-in のメニュー／設定の変更）で行います。

サーバー情報の変更

管理者がアドイン用のサーバーを1つ指定していた場合、このオプションは使用できません。

- 1 Add-in のメニューで、「設定の変更」を選択します。
- 2 サーバー名を選択し、「編集」をクリックします。



Connect Pro サーバーのオプション

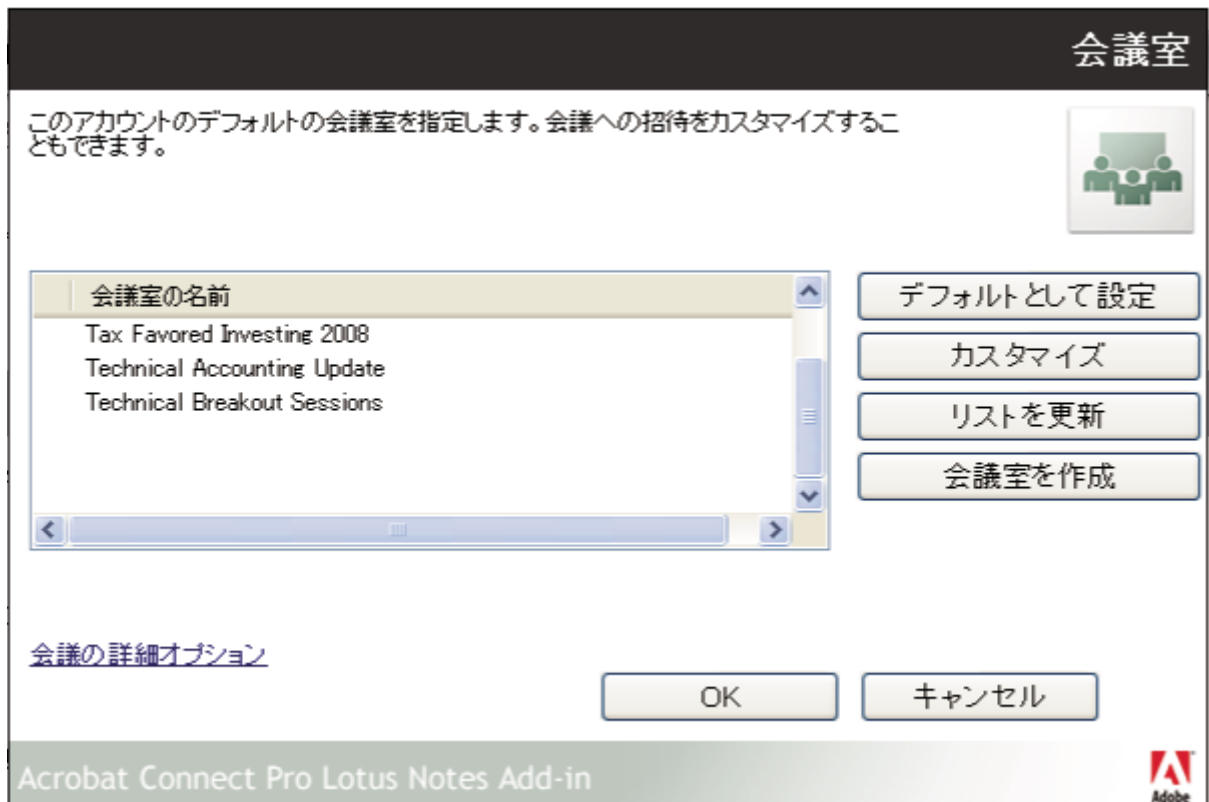
- 3 サーバーの変更ダイアログボックスで、次のいずれかのタスクを実行します。
 - 既存のサーバーを使用するには、サーバーを選択して「OK」をクリックします。このサーバーは、設定ダイアログボックスの「サーバー」テキストボックスに表示されます。
 - (利用可能な場合) 新しいサーバーを追加するには、テキストボックスに FQDN（完全修飾のドメイン名）を入力し、「サーバーの追加」をクリックします。絶対ドメイン名とも呼ばれる **FQDN** は、Acrobat Connect Pro サーバーアプリケーションをホストしているサーバーの完全なドメイン名です。このサーバーは、利用可能なサーバーのリストに表示されます。
 - サーバーを削除するには、削除するサーバーを選択して「サーバーの削除」をクリックします。

デフォルトの会議室の設定

デフォルトの会議室を変更する前に、設定ダイアログボックスで Connect Pro サーバーが定義されていることを確認します。サーバーは、ユーザーアカウントに関連付けられた会議室のリストを取得します。

- 1 Add-in のメニューで、「設定の変更」を選択します。
- 2 サーバー名を選択し、「編集」をクリックします。
- 3 マイミーティングルームダイアログボックスで、リストから会議室を選択し、「デフォルトとして設定」をクリックします。

注意： Lotus 8.5 以降では、山括弧 (>>) は現在のデフォルト会議室を表します。



デフォルトの会議室の設定

注意： 新しい会議の作成時に、新しい会議をデフォルトとして指定することもできます。

- 4 追加の会議情報を設定するには、「会議の詳細オプション」をクリックします。Acrobat Connect Pro での会議のリストが開き、会議情報を編集する会議を選択できます。詳しくは、「Acrobat Connect Pro ヘルプ」を参照してください。

関連項目

5 ページの「[会議室の作成](#)」

会議室の詳細のカスタマイズ

Connect Pro の会議室はすべて事前に定義されたテンプレートを使用します。テンプレートでは、会議室の URL や音声会議の詳細（該当する場合）に関する設定が利用できます。任意の会議室について、事前に定義された設定を使用するか、事前に定義された設定をカスタマイズすることができます。例えば、音声会議プロバイダーに対応したアカウント情報を追加して、会議を予約する際に必要なすべての情報を揃えることができます。招待状で複数の会議室に対して異なるカスタマイズ設定ができます。

- 1 マイミーティングルームダイアログボックスで会議室を選択して、「カスタマイズ」をクリックします。

招待をカスタマイズ

選択した会議室の招待の詳細を指定します。必要に応じて、「電話の設定」をクリックしてオーディオ会議の詳細を追加します。

会議室の名前: My user's meeting room

招待テキスト: 次の場所で Acrobat Connect Pro 会議に参加してください。

テレフォニー: 会議番号: 1-800-000-0000
参加者コード: 43216

Acrobat Connect Pro Lotus Notes Add-in

会議の招待状のカスタマイズ

- 2 次のいずれかの操作を行います。

- 招待状の詳細を追加するには、テキストを入力し、Connect Pro 会議室の URL を追加します。
- 音声会議（テレフォニー）の詳細を追加するには、「電話の設定」をクリックします。このオプションは、Connect Pro サーバーから取得したテレフォニー情報を、テキストボックスの現在のエントリの後に追加します。

会議室のリストの更新

特定のサーバー上のユーザーアカウントに関連付けられている会議室を同期することができます。会議室は、Acrobat Connect Pro サーバー上、およびオフライン作業用にローカルコンピューター上に維持されています。アカウント管理者は、ローカルの会議室リストとそのサーバー上の会議室を同期することができます。

- ❖ マイミーティングルームダイアログボックスで、「リストの更新」をクリックします。

現在割り当てられているデフォルトの会議室がサーバー上に存在する場合、その会議室はデフォルトのまま変更されません。それ以外の場合、リストの最上位の会議室が自動的にデフォルトとして選択されます。新しいデフォルトの会議室をリストから選択するか、新しい会議室を作成してデフォルトとして設定します。